

ならちゅうしん経営研究会 例会報告

第 367 回 研究会

日 時 令和 5 年 9 月 20 日(水) 午後 4 時 ~ 午後 5 時 40 分
場 所 奈良中央信用金庫 3 階 ホール (オンライン併用開催)
テーマ 「DXセミナー」
講 師 奈良県中小企業診断士会 会長
株式会社 ブルーオーキッドコンサルティング 代表取締役
ITコーディネータ 渡辺 淳氏

今回は、奈良県中小企業診断士会会長で株式会社ブルーキッドコンサルティング代表取締役の IT コーディネータ渡辺淳様を講師にお招きして、「DXセミナー」を開催しました。冒頭に芳仲会長より“デジタル技術を活用した業務改革は我々中小企業にとっても必須となる取組であるのでDXについて学びを深めましょう”と開会のご挨拶を頂きました。

まず、DXとは企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立することと説明頂き、デジタイゼーション→デジタルライゼーション→DXと進展するデジタル技術の変遷についてお話を頂いたうえで、技術革新が目まぐるしいデジタル技術を解り易く説明するために、生成系AIを活用したテキスト作成ツールである「ChatGPT」や定形的な一連の事務作業を自動化するソフトウェアである「RPA」などを実演頂きました。また、専門的なプログラミングのスキルが無い人でも、簡易なソフトウェアを開発することが出来るノーコードツールを幾つか紹介頂きました。ノーコードツールは専門人材の確保が困難でシステム投資が容易でない中小企業には有用であると説明頂きました。

続いて、DXの進め方について講義を頂きました。デジタル化は経営戦略の策定と同じで将来のありたい姿とそこに至る道程を事業計画に表し進めていくもので、まずビジネスプロセスを把握し業務とデータの流れを視覚化することでデジタル化する業務の優先順位付けを行い費用対効果の高いところからデジタル化していくのが良いとのこと。講演の最後には、DXを進めるために必要な中小企業に合ったデジタル人材像について解説頂き、革新・改善意欲が高い人であればデジタル知識・スキルが然程高くない人でもノーコードツールで何とかなるとのことで、プロフェッショナル人材戦略拠点事業の紹介がありました。

DXは、会員の皆様の会社にとっても自社の持続可能な発展のために重要な、そして関心の高いテーマですので、講義が終わってからも、多くの質問が寄せられました。渡辺先生、貴重なご講義をありがとうございました。

以 上



芳仲会長 ご挨拶



講師 ITコーディネータ 渡辺淳氏